



【第15号】
平成30年 7月20日

福島県小名浜港湾建設事務所

おなはまみなと通信

【発行元】
福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課
☎ 0246-53-7126

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/onahama-minato.html>

第17回 おなはま海遊祭が7月28日（土）～29日（日）に開催されます。

おなはま海遊祭とは？



おなはま海遊祭とは、アクアマリンパーク（小名浜港1・2号ふ頭）で2日間に渡り行われる市民参加型の夏のイベントで、昭和61年（当時は「船の博覧会」）から震災による中止をのぞき、継続されてきました。また、このイベントは8月4日に小名浜港で行われる「いわき花火大会」のプレイベントにもなっています。

当事務所は29日（日）おなはま海遊祭に出展します！



当事務所では、国土交通省東北地方整備局小名浜港湾事務所と協力し、アクアマリンパーク駐車場で「小名浜港PRブース」を設置します。

小名浜港PRブース

港の役割や小名浜港に関連のある企業等のパネルを展示して紹介する他、**小名浜港内バスツアー**などを行います。また、小名浜港PRブースにて、アンケートにお答え頂いた方に先着で**プレゼント**をお配りしています！



小名浜海遊祭バスツアー

ルート図



※写真は昨年（2019年）の海遊祭の状況です。
（所要時間約50分）

実施回数	受付時間	見学時間	定員
1回目	10:00～10:45	11:00～11:50	各回先着 38名
2回目	10:00～12:45	13:00～13:50	
3回目	10:00～14:45	15:00～15:50	

バスツアーの受付は、小名浜港PRブースで行います。小名浜港の概要、各ふ頭の特徴や荷役機械等の説明をしながら、普段立ち入ることのできない「制限区域」を約1時間かけてバスで巡るツアーです。当日は、小名浜マリブリッジの徒歩での一般開放も行っています。



小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなどの整備、管理及び運営を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港をはじめとしたいわき市内の港湾・漁港の復旧・復興状況や話題などみなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからもご覧いただけます QRコードはこちらです



小名浜港港内見学を実施しました



勿来第三中学校の1年生



野積されている石炭に興味津々な様子

6月19日（火）、いわき市立勿来第三中学校の1年生（23名）がいわき市常磐公民館主催の『わくわく仕事塾』で小名浜港港内見学に来ました。今回の『わくわく仕事塾』は、石炭火力発電で使用する石炭の輸入から発電に携わる人々を実際に目にする事で、生徒の将来のキャリア教育に生かすことを目的としています。生徒たちは小名浜港で石炭の輸入拠点としての役割を学び、次の見学先の常磐共同火力（株）へと出発して行きました。

当所では、職員がバスに同乗し、港の役割や各ふ頭での取り扱い貨物について説明しながら、3号ふ頭から大剣ふ頭まで巡る港内見学を実施しています。随時受付を行っておりますので、詳しくは当事務所のHPをご覧ください。

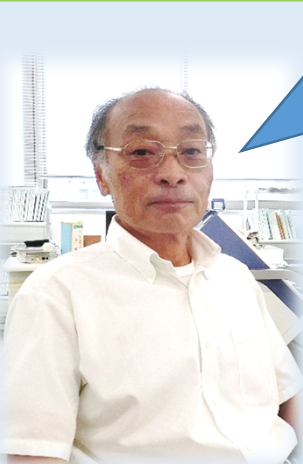
* 港内見学は小・中学生、高校生を対象に実施しています。

小名浜港湾建設事務所の新採用職員の紹介

今年4月に採用された2人の職員に当事務所に配属された感想や仕事についてインタビューしました。

インタビュー内容

- ①小名浜港の第一印象は？ ②今はどんな仕事をしていますか？ ③今後の目標は何ですか？



建設課 副主査
こまつ しゅんじ
小松 俊二

- ①子供の頃から慣れ親しんだ、いわき市、小名浜であり環境・県民性・方言等、懐かしく感じています。
- ②5・6号ふ頭の排水工事や勿来海岸離岸堤工事の担当をしています。
- ③1日も早く職務内容を理解して、業務遂行に努めたいと思っています。
- ①郡山に住んでいたもので、海がある景色がとても新鮮に感じています。
- ②事務所広報に関する事に携わっています。
- ③早く仕事を覚えて、県民の皆さんの役に立てる職員になりたいです！



企画調査課 技師
ほんだ いつき
本田 樹

編集後記

こんにちは！小名浜港湾建設事務所のいつきです！
今回は、おなはま海遊祭での当事務所のブースに関する告知でした！
今年の海遊祭は、イオンモールいわき小名浜がオープンしたことから混み合うことが予想されています。
皆さんお気をつけてアクアマリンパークまでお越し下さい。
小名浜港でお待ちしています！

いつき君

